

2023 鈴鹿 Mini-Moto 4 時間耐久ロードレース ブリーフィング資料

2023/11/12
競技監督

1. 走行前の注意事項

- ① ヘルメットやリムーバーのあご紐、レーシングスーツ、ブーツのファスナー等は完全に閉めること。
- ② ライダーの腕章は、**両腕上腕**に着用してください。(青・黄・赤・白)
- ③ 今大会走行スピードに差のあるライダーや経験の少ないライダーは**青のメッシュベスト**を着用しています。スピードの速いライダーは追い越す際、速度差に十分注意し余裕を持って追い越しをしてください。また、急激な車線変更は大変危険です。メッシュベスト着用のライダーは無理にラインを譲る必要はありません。

2. コースイン・ピットイン時の注意

①

ピットレーンの制限速度



②

ピットレーン制限速度開始ライン



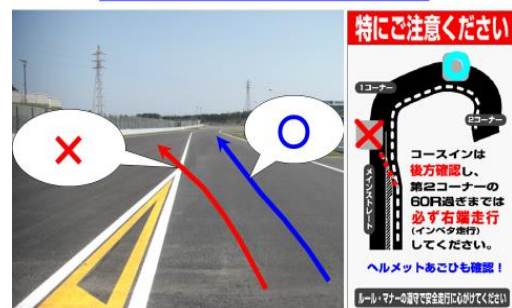
③

ピットレーン速度制限終了ライン



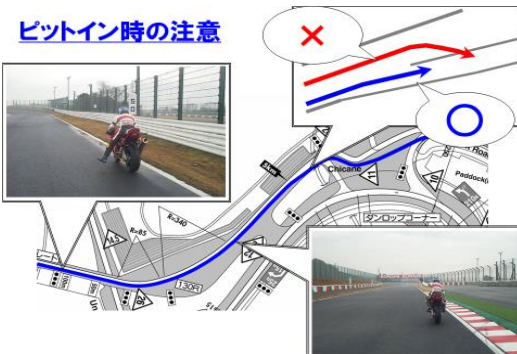
④

コースイン方法について



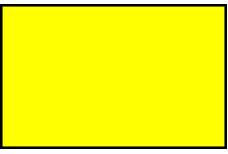
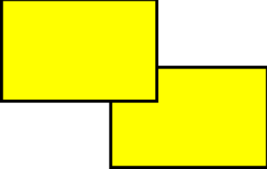



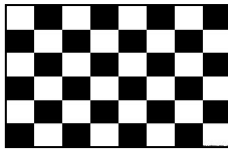
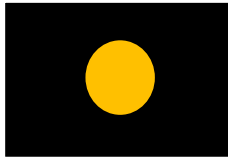

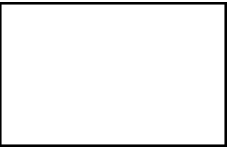


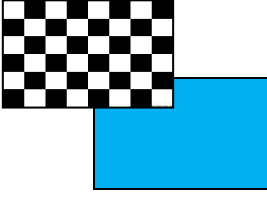
⑤

ピットイン時の注意

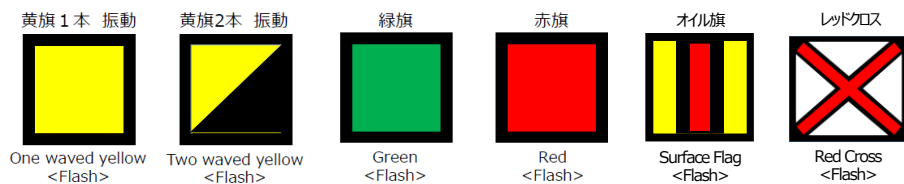


3. フラッグ等について

ライダーは、掲示されるフラッグ・ライトパネルを確認する義務がある。※違反した場合は罰則を科す。
 ストレート上でもフラッグやボードの見落としがないように注意すること。

	<p>【黄旗 1本】 振動表示 表示ポスト前方でトラブルが発生。 減速し、緑旗提示ポストまで追い越し禁止。</p>		<p>【黄旗 2本】 振動表示 表示ポスト前方コース上にトラブルが発生。減速し、緑旗提示ポストまで追い越し禁止。</p>
<p>■黄旗の基本的な出され方</p>  <p>コースの前方に転倒などの危険な状況が起きていることを知らせています。ポストでは黄旗を振動させて知らせますので、そのポストから追い越し禁止となります。最大限の注意を払いながら危険な状況が起きている地点を通過します。さらに、追い越し禁止は続き、緑旗が提示されるポストを過ぎたら追い越し禁止が解除されます。黄旗の振動に代わりに、イエローライトの点滅によって危険を知らせる場合もあります。</p>			
	<p>【赤旗】 走行中断。減速し、ピットに戻らなければならない。</p>		<p>【オイル旗】 コース上が滑りやすい状態の時、提示される。(オイル漏れ、落下物なども含む。)</p>
	<p>【チェッカー】 走行終了。速度を落とし、その周でピットインをすること。 先頭でチェッカーを受けた車両が通過するタイミングでコントロールラインのフラッグ台(OOP)でチェッカー提示。 コントロールラインフラッグ台でチェッカー提示後 ・インフォメーションパネルチェッカー提示 ・各ポスト 黄旗静止提示 但し、トップライダー直前に未チェッカー車両が走行している場合は、提示を遅らす場合がある</p>	 	<p>【オレンジボール+ゼッケンボード】 ピットまで戻らず速やかにコースアウトし、最寄りの安全な場所に車両を止めること。 ※大量のオイル漏れ等、危険を及ぼす恐れのある競技車両が発見された場合、即当該ライダーに警告するため、旗のみ表示を行う場合がある。</p>
	<p>【白旗】 救急車等の介入車両があり、この介入車両を追い越すまで他のライダーを追い越す事は禁止される。</p>		<p>【黒旗+ゼッケンボード】 当該車両は直ちにピットに戻り、オフィシャルの指示を受けること。</p>
	<p>【青旗】 後方よりペースの速い車両が接近し、追い越される場合に振動表示にて提示される。</p>		<p>【チェッカー+青旗】 ファイナルラップにフィニッシュラインの手前でトップライダーの直前に他のライダーが走行している場合、トップのライダーはチェッカーを意味するが、直前を走るライダーにはもう1周することを示す</p>

・ライトパネルの表示例



4. 公式予選について

- ① Rider BLUE のみが、走行することができます。
- ② 公式予選走行時は MFJ ライセンス、もしくは SMSC ライセンスなど顔写真付きのライセンス等を携帯するようにしてください。予選後の車両検査の際に、ライセンスを確認します。
- ③ 公式予選終了後、各予選グループからランダムに選出して車両検査を行います。オフィシャルの指示に従ってください。

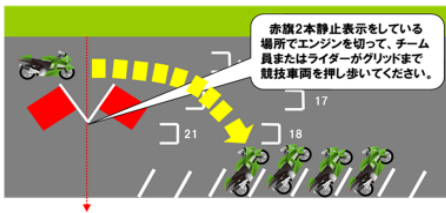
5. 決勝レーススタート方法等について

- ① スタートライダーの変更期限は予選Bグループ終了後30分以内です。
WEBフォームより行います。右のQRコードより申請ください。
期限までに届け出がない場合、Rider BLUE がスタートライダーになります。
※注意：**スタートライダーを変更した場合でも、ライダー腕章の色は変わりません。**
- ② スタート時エアバッグ式プロテクション装着補助者申請の期限も予選Bグループ終了後30分以内です。
WEBフォームより行います。右のQRコードより申請ください。
エアバッグ装着補助者は、ピットクルーへ登録かつ上記申請にて申請した1名に限りです。
エアバッグ装着補助者は、作業衣(長袖長ズボン・靴)、2輪用ヘルメット、及びメカニック腕章を着用してください。
- ③ スタート前チェックの場所は、51・52ピット裏付近です。
時間厳守となりますので、指定された時間内に必ずチェックを受けてください。
- ④ スタート前チェックでは競技車両の確認、及び決勝用ドライタイヤのマーキングを行います。
競技車両の持ち込みは必ずしもライダーである必要はありません。スタート前チェック終了後は、自己のピットに戻って頂き、スタート進行に備えてください。



⑤ サイティングラップからグリッド到着時について ⑥-1

サイティングラップ終了後にグリッドに戻ったライダーは、オフィシャルが赤旗2本を静止提示している場所で一旦停止し、ライダーは、エンジンを切らなければならない。
その後ライダーまたはチーム員が押し歩くような速さで所定のグリッド位置につく。その際にライダーは降車しても乗車したまま移動しても良い。



スタート時の注意事項①

スタート時に競技車両を支える者は、**スタートライダーを除く正ライダー**とする。
競技車両を支える者は、**車両後部を保持するのみ**とする。

【服装】

- ・2輪用ヘルメット
- ・レーシングスーツ
- ・ライディングブーツ

⑥-2 スタート時の注意事項②

エアバッグの装着を補助する者は、**ピットクルーへ登録かつエアバッグ装着補助者申請にて申請した1名のみ**とする。

【服装】

- ・2輪用ヘルメット
- ・長袖長ズボン (レーシングスーツ)
- ・シューズ (ライディングブーツ)

- ⑦ スタート合図は日章旗を使用します。日章旗は前半、後半グループそれぞれの中間地点(前半:**33番グリッド付近**、後半:**101番グリッド付近**)で振り上げられます。日章旗が振り上げられたらスタートライダーはコースを横断し、競技車両に駆け寄りスタートします。前半グループがスタートし、スタート補助員の退避完了後、後半グループは30秒前(ポード提示/警告音)からスタート進行を行います。スタート時、日章旗が振り上げられる前に白線から足が離れたチームは、**1周減算の罰則が科されます。**
- ⑧ 決勝スタート後、コンクリートウォールを越えられないペアライダーは、ホームストレートからの退出用にゲートを開放しますので、速やかにゲートへ向かって下さい。
- ⑨ ル・マン式スタートでは、特に上位グリッドのライダーは後方からの競技車両との衝突を避けるために、スタート直後は極力コースの右側を走行してください。(スタート直後は周囲の状況をよく確認し、接触等がないよう注意してください。)
- ⑩ 全車スタート後、**PUSH**ボードを提示した後、アシスタントによる押しがけスタートが許されます。但し、オフィシャルが指示する時間内にエンジンが始動しなかった場合ピットレーンへ移動が命じられます。**PUSH**ボードは、コントロールラインのフラッグ台(OP)とスタートラインのフラッグ台(0.5P)で掲示されます。

5. 走行にあたっての注意事項 — 下記項目について確認・徹底をお願いします。

- ① 決勝及び公式予選中にスロー走行をしなくてはならない場合には、周囲の状況を把握し、レコードラインを避けるなど、安全面に最大限の注意を払って走行してください。
(速く走行しているライダーに優先権があります。)
スロー走行中の競技車両には白・黒斜分割旗が使用されます。
- ② 公式予選時、規定外の場所からのピットインをした場合、当該周無効(ショートカットをした周)とし、それ以降の出走は出来ません。
- ③ トラック脇で競技車両を止める場合は、マシンが動いている間にグリーン奥の安全な位置まで行き、競技車両を止めるように心掛けてください。(トラック上に競技車両を止めないでください。)
- ④ 転倒・コースアウト後、トラックに復帰する際は後続車の状況を正確に把握し、安全を最優先してください。
- ⑤ 決勝中、トラック上でストップしたライダーがエスケープロード等を使用してピットへ戻ることを希望する場合、オフィシャルの指示に従ってください。ピットへ戻る際、自走及び工具による修理は認められません。
※4輪サービスカーによる回収も行いますが、状況により待ち時間がかかる場合があります。
- ⑥ 決勝中、トラック内のショートカット路を通った場合やサービスロードを使用した場合、ピット出口より先からピットへ戻る場合には、ショートカットした周回はカウントしません(当該周無効)。
決勝中にシケインのショートカットをして優位になった場合には、1周減算の罰則を科します。
ただし、最終コーナーシケインから最終コーナー付近で転倒した場合のみ、安全の為、ピットレーンへ向けてショートカットして自ピットで点検することを条件に罰則は科さないこととします。
- ⑦ 決勝中、コース脇で競技車両を押し移動している場合、各ポストで「PUSH」ボードを提示します。
- ⑧ 追い越した競技車両が走行ラインを変更して追い越された競技車両に接触するケースが目立ちます。追い越す際は慎重をお願いします。

6. 決勝レースのライダー交替 70分走行ルールについて

- ① ライダーは1セッションにつき、70分以上連続走行してはいけません。
- ② 決勝レース終了までに登録ライダー全員の走行が義務付けです。
- ③ チェッカーを受ける最終ライダーの走行時間管理はスタートより4時間経過した時点(16:00)で終了とします。
- ④ 前半グループと同時に後半グループも連続走行時間の計測が開始されます。
計測終了は、ピットイン3分間規制計測開始地点となります。
- ⑤ その他のライダーの計測は、ピットイン3分間規制終了地点通過(コースイン)とともに開始され、ピットイン3分間規制計測開始地点通過時点(ピットイン)で終了となります。

7. ピット作業について

- ① 決勝時のピットストップ時間規制については3分間とします。(補給を行わない場合であっても同様。)
ピットインしたらエンジン停止は義務付けとします。また、コントロールタワー前とピットレーン出口に参考の為に大型のスポーツタイマーが設置されます。
各チームはこのタイマーを**目安**とし、各自でピットイン時間を管理してください。ピットストップタイムはトランスポンダーにて記録されているタイムが公式なものとして扱われます。
ピットレーン出口で3分間の時間待ちなど待機することは大変危険ですので禁止です。
- ② 修理、および燃料補給の作業人員は、その競技車両に登録されたピット要員およびライダーが行なうこととします。
- ③ 燃料補給は、修理等全ての作業が終了してから最後に行うようにして下さい。燃料補給時には、補給作業に携わる全員(補給用具を接続している要員と、消火器待機要員)は規則書に記載されている目の保護具、ならびに適切な防火服を着用しなければなりません。
- ④ 燃料補給は、車両のエンジンが停止し安全にスタンドで支持された状態で行なってください。
- ⑤ 燃料補給時、消火器待機要員は消火器の安全ピンを抜き、ノズルを車両に向けて待機してください。
- ⑥ 車両の燃料タンクよりあふれ出たガソリンは、ただちにふき取ってください。
- ⑦ ピットイン時に車両の冷却を目的とした全ての作業・行為は禁止します。
これに違反した場合、罰則が科せられます。
- ⑧ 給油後に競技車両への技術的な作業を行う場合、それはチームに割り当てられたピットボックス内で行わなければなりません。
- ⑨ 決勝用ドライタイヤはスタート前チェック時にマーキングが施された1セット(フロント1本/リア1本)とします。
ウェットタイヤの使用セット数制限は行ないません。マーキングされたドライタイヤでスタートしてウェットタイヤに交換、再度ドライタイヤに交換する場合はマーキングされたドライタイヤを使用しなければなりません。タイヤを交換する際は、ピットレーンの安全確保のため、ピットボックス内で作業をしてください。

8. 赤旗時の対応について

- ① 赤旗時の競技車両保管場所(以下パークフェルメという)は、各チームピット前のピットレーン補助区域(下図、参照)とします。
- ② 赤旗時、ピットにいた競技車両もパークフェルメへ移動して競技車両保管されます。車両の修理により動かす事ができない場合は例外としますが、一切の作業は禁止されます。
- ③ パークフェルメでは、1台につき1名のピット要員が出向きスタンド等で競技車両を保持することが許されます。
- ④ コントロールラインのフラッグ台(OP)及びスタートラインのフラッグ台(O.5P)のグリーンフラッグ合図により、作業を再開することができます。同時にサイティングラップからスタート手順を開始し、5分後にピット出口は閉鎖されます。
- ⑤ 車両を押ししてグリッドに移動することは認められず、サイティングラップに参加できないライダーはピットスタートとする。
- ⑥ スターティンググリッドについて確認された段階で「スタート3分前ボード」が提示される。
- ⑦ 以降、通常のスタート手順とする。



9. レース再開の3ケースについて

- ① レースの再開は、次の3つのケースに分けられます。(以下ケース A・B・C とします)

ケース A: トップ及びトップと同じ周回数を走行していた残りの競技車両が3周未満の場合、当該レースは無効となり、全く新たなレースとして再開します。

ケース B: トップ及びトップと同周回数を走行する残りの競技車両が3周以上完走し決勝時間が2/3時間未満の場合、再開後のレースを第2レースとして行います。レースの最終結果は両レースを合算し、最大数の周回チームが優勝となります。合算した周回数が同数の場合は第2レースの結果が優先されます。

ケース C: トップが2/3時間以上走行していた場合は、レースは成立したものとします。順位は赤旗が提示された前のトップ及びトップと同じ周回数を走っていた残りの競技車両がコントロールラインを通過した週の通過順とします。

- ② ケース A・B ともに第2レースのスタート方法についてはル・マン式スタートを採用します。
- ③ 連続走行時間については赤旗にて終了し、第2レース開始から新たな連続走行時間が開始されます。

10. 燃料規定について

- ① 使用燃料は、鈴鹿サーキット内で販売されるものを使用してください。各銘柄が混ざらないように取り扱いには十分注意してください。(混ぜて使用した場合、“失格”の罰則が科されます)
- ② 公式予選、決勝を問わず、また順位の如何を問わず燃料検査を実施する場合があります。

11. レース終了

- ① チェッカーを受けた後コースを1周しピットインしてください。その後オフィシャルの誘導に従ってください。
- ② チェッカーの周にピットインした場合、順位はチェッカーを受けた競技車両の後ろになります。
誤ってピットインした場合でも、チェッカー後の再コースインはできません。
- ③ レース終了後、**競技車両**はコントロールタワー下ピットレーン上に保管されます。
ピットイン後、オフィシャルの誘導に従ってください。
- ④ 表彰式は、APE100&XR100Motard-ST、KSR-ST、GROM-ST・Z125 PRO-ST、HRC GROM Cup の各クラス上位3チームを対象に行います。(予選出走台数により変更の場合があります)
表彰式に参加しなかった場合は、賞典の権利は放棄したものとみなします。
- ⑤ 如何なる場合(スタート遅延やレース中断等)でもレース終了時刻は、**16:00**とします。
- ⑥ レース終了後の再車両検査において分解検査を行なう場合があります。

以上